

# ミクロ経済学I演習 第5回 解答

作成日 | 2017 年 5 月 16 日

## 問題 1

求め方は例題と同じ。結果のみ掲載する。

(a) 支出関数:  $e(\mathbf{p}, u) = \frac{p_1 p_2}{p_1 + p_2} u^2$

財  $i$  の補償需要関数:  $x_i^h(\mathbf{p}, u) = \left( \frac{u p_j}{p_1 + p_2} \right)^2$

財  $i$  のマーシャルの需要関数:  $x_i(\mathbf{p}, y) = \frac{p_j y}{p_i(p_i + p_j)}$

(b) 支出関数:  $e(\mathbf{p}, u) = u(\alpha_1 p_1 + \alpha_2 p_2)$

財  $i$  の補償需要関数:  $x_i^h(\mathbf{p}, u) = u \alpha_i$

財  $i$  のマーシャルの需要関数:  $x_i(\mathbf{p}, y) = \frac{\alpha_i y}{\alpha_1 p_1 + \alpha_2 p_2}$

## 問題 2

(a)  $e(\mathbf{p}, v(\mathbf{p}, y)) = y$  を用いると、間接効用関数は

$$e(\mathbf{p}, v(\mathbf{p}, y)) = v(\mathbf{p}, y) \sqrt{p_1 p_2} = y \Rightarrow v(\mathbf{p}, y) = \frac{y}{\sqrt{p_1 p_2}}.$$

シェパードの補題より補償需要関数は,

$$x_i^h(\mathbf{p}, u) = \frac{\partial e(\mathbf{p}, u)}{\partial p_i} = \frac{u}{2} \sqrt{\frac{p_j}{p_i}}.$$

$x_i^h(\mathbf{p}, v(\mathbf{p}, y)) = x_i(\mathbf{p}, y)$  より, マーシャルの需要関数は

$$x_i(\mathbf{p}, y) = x_i^h(\mathbf{p}, v(\mathbf{p}, y)) = \frac{y}{\sqrt{p_i p_j}} \frac{1}{2} \sqrt{\frac{p_j}{p_i}} = \frac{y}{2 p_i}.$$

(b) (a) と同様にして求められるので結果のみ掲載する。

間接効用関数:  $v(\mathbf{p}, y) = \sqrt{y \left( \frac{1}{p_1} + \frac{1}{p_2} \right)}$

補償需要関数:  $x_i^h(\mathbf{p}, u) = \left( \frac{u p_j}{p_1 + p_2} \right)^2$

マーシャルの需要関数:  $x_i(\mathbf{p}, y) = \frac{p_j y}{p_i(p_i + p_j)}$

### 問題 3

双対性を用いて間接効用関数を求めると、

$$e(\mathbf{p}, v(\mathbf{p}, y)) = \frac{3}{2^{2/3}} v(\mathbf{p}, y) p_1^{1/3} p_2^{2/3} = y \Rightarrow v(\mathbf{p}, y) = \frac{2^{2/3} y}{3 p_1^{1/3} p_2^{2/3}}.$$

また、シェパードの補題より補償需要関数は、

$$x_1^h(\mathbf{p}, u) = \frac{1}{3} \frac{3}{2^{2/3}} u p_1^{-2/3} p_2^{2/3} = \frac{u p_2^{2/3}}{2^{2/3} p_1^{2/3}}$$

$$x_2^h(\mathbf{p}, u) = \frac{2}{3} \frac{3}{2^{2/3}} u p_1^{1/3} p_2^{-1/3} = \frac{2^{1/3} u p_1^{1/3}}{p_2^{1/3}}.$$

さらに双対性よりマーシャルの需要関数は、

$$x_1(\mathbf{p}, u) = x_1^h(\mathbf{p}, v(\mathbf{p}, y)) = \frac{2^{2/3} y}{3 p_1^{1/3} p_2^{2/3}} \frac{p_2^{2/3}}{2^{2/3} p_1^{2/3}} = \frac{y}{3 p_1}$$

$$x_2(\mathbf{p}, u) = x_2^h(\mathbf{p}, v(\mathbf{p}, y)) = \frac{2^{2/3} y}{3 p_1^{1/3} p_2^{2/3}} \frac{2^{1/3} p_1^{1/3}}{p_2^{1/3}} = \frac{2y}{3 p_2}$$

となる。

財 1 の価格の上昇に対する財 1 の需要量の変化のうち、代替効果は

$$\frac{\partial x_1^h(\mathbf{p}, v(\mathbf{p}, y))}{\partial p_1} = -\frac{2}{3} \frac{p_2^{2/3}}{2^{2/3} p_1^{5/3}} v(\mathbf{p}, y) = -\frac{2}{3} \frac{p_2^{2/3}}{2^{2/3} p_1^{5/3}} \frac{2^{2/3} y}{3 p_1^{1/3} p_2^{2/3}} = -\frac{2y}{9 p_1^2}$$

であり、所得効果は

$$-\frac{\partial x_1(\mathbf{p}, y)}{\partial y} x_1(\mathbf{p}, y) = -\frac{1}{3 p_1} \frac{y}{3 p_1} = -\frac{y}{9 p_1^2}$$

となる。

一方、財 1 の価格の上昇に対する財 2 の需要量の変化のうち、代替効果は

$$\frac{\partial x_2^h(\mathbf{p}, v(\mathbf{p}, y))}{\partial p_1} = \frac{1}{3} \frac{2^{1/3} p_1^{-2/3}}{p_2^{1/3}} v(\mathbf{p}, y) = \frac{1}{3} \frac{2^{1/3} p_1^{-2/3}}{p_2^{1/3}} \frac{2^{2/3} y}{3 p_1^{1/3} p_2^{2/3}} = \frac{2y}{9 p_1 p_2}$$

であり、所得効果は

$$-\frac{\partial x_2(\mathbf{p}, y)}{\partial y} x_2(\mathbf{p}, y) = -\frac{2}{3 p_2} \frac{y}{3 p_1} = -\frac{2y}{9 p_1 p_2}$$

となる。

◀  $p_1$  で微分してから  $u = v(\mathbf{p}, y)$  を代入すること。

◀ 財 1 の価格が変わる場合、後ろからかけるのは財 1 の需要量。